

福生青年会議所 45周年記念誌

1978 ▶ 2022



The Creed of Junior Chamber International

We Believe :

That faith in God gives meaning and purpose to human life; That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men; That earth's great treasure lies in human personality; And that service to humanity is the best work of life.

我々はかく信じる:

「信仰は人生に意義と目的を与え人類の同胞愛は国家の主権を超越し
正しい経済の発展は自由経済社会を通じて最もよく達成され 政治は人によって左右されず法によって運営されるべきものであり
人間の個性はこの世の至宝であり 人類への奉仕が人生最善の仕事である」

JCI MISSION

To provide development opportunities
that empower young people to create positive change.

JCIのミッション(使命)

青年が積極的な変革を創造し開拓するために、能動的に活動できる機会を提供する。

JCI VISION

To be the leading global network of
young active citizens.

青年の行動的市民活動を支援する
国際的なネットワークをもつ先導的機関となる。

JC宣言

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う。

綱領

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な
責任を自覚し
志を同じうする者 相集い
力を合わせ青年としての
英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

東京ブロック協議会 行動宣言

東京ブロック協議会は
LOM支援をベースとした広域的な運動体として社会や
LOMが各々の創意工夫によって
自主発展する土壌を創り出し
東京から日本を変える行動を起す事を宣言する

福生青年会議所45周年記念誌 目次

JCKリート・JCIミッション・JCIJミッション・ JC宣言・綱領・東京ブロック協議会行動宣言	1
理事長挨拶	4
福生青年会議所のあゆみ	6
祝辞	
・福生市 市長 加藤 育男	8
・羽村市 市長 橋本 弘山	9
・西多摩郡瑞穂町 町長 杉浦 裕之	10
・衆議院議員 自民党副総裁 麻生 太郎	11
・衆議院議員 自民党幹事長代理 井上 信治	12
・日本青年会議所 第71代会頭 中島 土	13
・日本青年会議所 関東地区協議会 第68代会長 坂倉 賢	14
・日本青年会議所 東京ブロック協議会 第51代会長 小美野 義一	15
・立川青年会議所 第58代 小林 優貴	16
・青梅青年会議所 第55代 多田 慎太郎	17
歴代理事長スローガン	18
福生青年会議所 会員一覧	20
編集後記	24



福生青年会議所
1978-2022

福生青年会議所2022年度理事長ご挨拶



ご挨拶

福生青年会議所
第45代理事長

田邊 和英

福生青年会議所は「明るい豊かな社会の実現」を目指し、公益社団法人立川青年会議所のスポンサー、一般社団法人青梅青年会議所のサブスポンサーのもと1978年9月16日に全国で645番目の青年会議所として創立され、本年度で45周年を迎えました。今の青年会議所を形作っているのは、先輩諸兄弟が築き上げた熱き行動と、それに賛同していただいております協力者や団体があったからこそと思います。日頃より福生青年会議所に心を寄せていただいております市・町内行政関係者、市・町関係諸団体、各地会員会議所同志の皆さま、また私たち現役会員を一番にお支えいた

だいておりますシニアクラブ先輩諸兄弟の皆さまに厚く心より感謝申し上げます。

2022年度の運動が始まり、早くも10カ月が経過しました。1月に新年賀詞交歓会・45周年記念式典を開催させていただきました。全国的な感染拡大を懸念して人数制限を設け、毎年御来賓としてお声をかけさせていただいております皆さまにおかれましては動画メッセージにて祝辞を頂戴いたしましたことをあらためて御礼申し上げます。また2月には入会間もないメンバーのための青年会議所の意義や目的を学ぶ例会を開催いたしました。また、青少年育成事業として子ども達の心身の鍛錬や健康増進を目的とした3年ぶりのわんぱく相撲西多摩場所、石川酒造にて開催した婚活パーティー、現役会員に向けた福生市や羽村市を知る・学ぶためのウォーキングラリーを実施し、そして10月1日に45周年記念事業

STREET BEAT JUNG
LE 2022 を開催する運び
となりました。

本年度、福生青年会議所は「勇
気凛凛」のスローガンのもと運動
を展開しております。新型コロナウイルス
が感染拡大したここ数年
で、生活様式やコミュニケーション
の取り方など常識を大きく変え
ざるを得ませんでした。今年も感
染拡大の懸念のある中、1年がス
タートし、現在においてはコロナ
治療薬の開発やワクチン接種など
も進み世界各地でも経済活動が
再開に進んでおり、例えば働き方
においても在宅勤務やテレワーク
導入オンラインビジネスやWebシ
ステムの充実、コミュニケーション
方法の変化やワーキングスペース
も増えました。そのような大きな
変化のある中で今私たちに求めら
れている事は何なのでしょう。か。
それは、この大きな変化に対応す
る柔軟性と変えてはならない事
を守り抜く信念であると思いま
す。

様々な課題や困難があるなかで、
前を向いて勇気を持って一歩を踏
み出し、一生懸命福生市・羽村市
・瑞穂町のまちや人のために、何
故そのために事業を行うのか、何
のためにその事業を行うのか地域
にとつてどのような効果があるの
かを真剣に議論し行動すること
が個の成長、そして組織としての
成長を促し、地域により良い変化
を起こせるものであると考えてい
ます。45周年という節目を迎え
これから50周年55周年に向け
て、より多くの青年会議所運動を
展開していきたいとより一層感じ
ました。変化をしようとするとし
敗はつきものです。より多くの失
敗をして挑戦をして、そして前に
進み今年度も最後まで駆け抜け
たいと思います。

結びとなりますが、新たな時
代へと歩み始める我々福生青
年会議所に対し、これまで携わっ
て頂きました皆様に感謝を込め、
そしてこれからも尚一層、ご指導
とご鞭撻を皆さまより賜ります



よう心からお願い申し上げ、理
事長挨拶とさせていただきます。





福生青年会議所 5年間のあゆみ

社会の出来事
平昌五輪開催

2018

6月事業

テーマ わんぱく相撲東京都大会西多摩場所「踏み出す勇気」
～明日へつながる決意の一步～



第556回8月例会

テーマ「福生七夕例会」



新元号
平成から令和へ

2019

第562回2月例会

テーマ「福生の隠れた人気スポーツ、ダーツで交流しよう！」



第563回3月例会

テーマ「ジュニアプログラミングセミナー」～想像を創造に～



第99代
菅 総理大臣
就任

2020

第582回10月例会
テーマ「復興に命を懸けた二宮金次郎！！その生き様からあなたは何を学べるだろうか！？映画「二宮金次郎」を閲覧あれ！」



第584回12月例会
テーマ「クリスマス例会&卒業式」



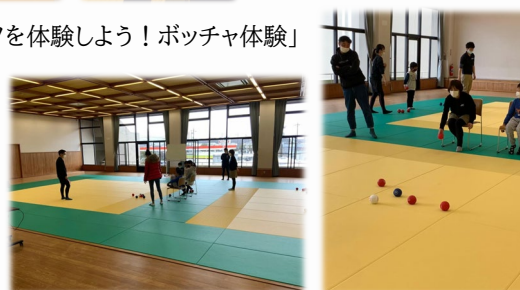
東京オリンピック
開催

2021

4LOM合同事業
テーマ「衆議院議員選挙 合同・個人演説会」



第587回3月例会
テーマ「今年こそパラリンピック！パラスポーツを体験しよう！ポッチャ体験」



2022

第603回6月例会
テーマ「知ろう！学ぼう！楽しもう！福生の文化ざいウォーキングラリー」



第604回7月例会
テーマ 福生婚活パーティー「福婚～酒蔵で乾杯～」





福生市 市長

加藤 育男

福生青年会議所が創立45周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

福生青年会議所は、昭和53年の設立以来、時代が移り変わる中で一貫して地域に寄り添い、理想とする「明るい豊かな社会の実現」に向け、今日まで熱心に取り組んでこられました。歴代理事長をはじめとするメンバーの皆様の日々の御努力と熱意に改めて敬意を表しますとともに、心からお礼申し上げます。

ここ数年の新型コロナウイルス感染症拡大が社会経済活動に与えた影響は大きく、福生青年会議所におかれましても、各種例会や事業の実施に際し、規模縮小や実施形式の変更が迫られるなど、感染対策による制約の中で様々な御苦労があったこと存じます。

このような状況下で、皆様におかれましては、福生青年会議所の日々の取組を効果的に発信するため、また、メンバー間の連携をより深めるための手段として、情報発信やコミュニケーションの重要性を再認識され、あるいは、地域の更なる魅力を知るために活動されるなど、社会状況や価値観の変化に柔軟に対応されながら、まちの発展を促そうと懸命に取り組んでこられました。今年、わんぱく相撲が2年ぶりに開

催されたように恒例事業も再開に向けて動き出すなど、福生青年会議所が長きにわたり築き上げてこられた伝統の灯を絶やすことなく、その活動も新しい時代へと着実につながれており、大変喜ばしい限りです。

このように、まちの発展を願う上ではそのまちに愛着を持つ方々の行動が必ず不可欠であり、皆様の若い力と情熱が、人とのつながり、地域との関わりを経て、まちの活力を生み出すことに期待を膨らませております。

福生市では現在「人を育み 夢を育む 未来につながるまち ふっさ」の実現に向け、デジタル・トランスフォーメーションや子育て支援事業の推進、そして福生駅西口地区の再開発事業など、市民サービスの一層の向上を図るために、各種施策に全力で取り組んでおります。

今後も地域の御理解と御協力をいただき、持続可能な魅力あるまちづくりを進めてまいりますので、皆様におかれましても引き続き、幅広い活動を通じて、まちの発展にお力添えいただきませうようお願い申し上げます。

結びに、福生青年会議所ますますの御発展と、皆様の御健勝をお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



羽村市 市長

橋本 弘山

福生青年会議所創立45周年を心からお慶び申し上げます。

昭和53年(1978年)に645番目の会議所として設立された福生青年会議所は、『個人の修練(TRAINING)』『社会への奉仕(SERVICE)』『世界との友情(FRIENDSHIP)』という三信条のもと、「明るい豊かな社会の実現」を掲げ、会員相互の啓発と交流をはかり、地域との協働により社会の発展に貢献されてこられました。

これもひとえに、歴代の理事長をはじめ多くの会員の皆様のご尽力の賜と深く敬意と感謝の意を表させていただきます。

青年会議所のメンバーは、社会の若きリーダーとなる責任感を持った20歳から40歳までの青年の集まりであり、よい社会造りを目指して活動を行う団体と何っており、福生青年会議所の皆様は、地域において、まさに社会活動を牽引される方々であると承知しているところです。

福生青年会議所は、ここ数年来のコロナ禍の中においても、感染症感染拡大防止対策を講じながら、「わんぱく相撲西多摩場所」をはじめ、様々な事業を実施され、羽村市といたしましては、メンバー向けの事業の開催はもちろんのこと、地域の方々に向けた事業や青少

年育成事業の実施など、地域に寄与されるご活動に、今後も更なる期待を寄せているところです。さて、現在、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響も含め、社会経済情勢が大きく変化し、羽村市においても、財政状況等は大変厳しい状況であります。

そのような中、羽村市では、本年4月に市の将来像を「まちに広がる笑顔と活気もっとくらしやすいまちはむら」と定め、第六次羽村市長期総合計画がスタート致しました。

羽村市が将来にわたって持続可能なまちとして、また、日々の暮らしに充実感と未来への希望を抱くことができるまちであるために、まちづくりに全力で取り組んでまいりますので、今後も皆様のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。

結びにあたり、福生青年会議所が、45年の長きにわたり築いてこられた歴史と伝統のもと、今後ますますご発展されますことをご祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。



西多摩郡瑞穂町 町長

杉浦 裕之

福生青年会議所創立45周年を心よりお慶び申し上げます。

貴青年会議所が創設された昭和53年から、平成、令和と変遷する長い間国内の社会経済情勢はめまぐるしい変化を遂げてきましたが、45周年という記念すべき節目を迎えられましたことは、歴代理事長をはじめ、会員の皆様方の熱意とたゆまぬ努力の賜物と、深く敬意を表します。

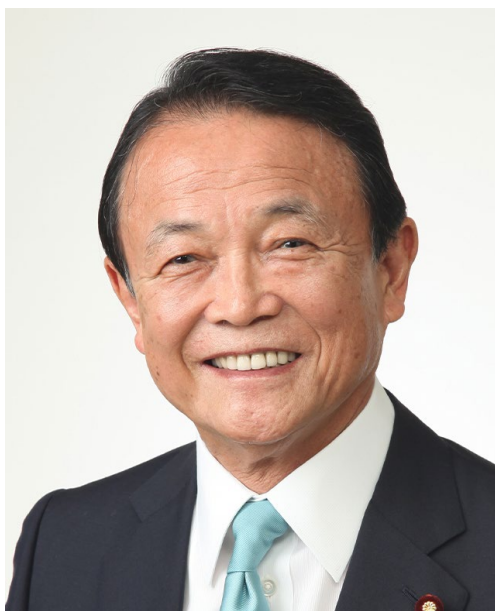
さて、わが国で新型コロナウイルスの感染が初めて確認されてから足掛3年が経過しますが、いまだ収束には至っておらず、長期にわたり私たちの暮らしや社会経済活動に深刻な影響が及んでいます。瑞穂町では、ワクチン接種事業をはじめ、感染症から町民を守ることを最優先として対応しながら、子育て世代や高齢者への支援、行政及び産業のデジタル化の推進、多摩都市モノレール延伸と一体となったまちづくりなど、地域の活力向上に取り組んでいます。

こうした中、貴青年会議所では、オンラインを活用した会議や事業の開催など積極的に展開し、地域の活力向上に寄与されており、変革の時代に対応した皆様の若い力と行動力に大変心強く存じています。また、ニューノーマルな時代を迎え、若い人材の知恵と行動力が期待される中、田邊和英理事長が

本年度のスローガンとして掲げた「勇気凛凛」には、これからの困難な時代に立ち向かおうとする強い心意気を感じます。メンバーが心を一つにし明るい豊かな社会の実現に向けて、勇敢に挑戦し続ける貴青年会議所の活動は、地域の誇りであり、かけがえのない財産です。

社会が大きく変容している現在において、将来を担う若い世代が一層団結し、今まで培われてきた45年の理念に、新たな英知と力強い志を加え、地域に根ざした活動を今後も展開されることを期待いたします。

結びにあたり、貴青年会議所のますますのご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



衆議院議員 自民党副総裁

麻生 太郎

福生青年会議所の創立45周年を心からお祝い申し上げます。私が日本青年会議所の会頭を務めている時に設立されたということと、それから約半世紀。歴代O田をはじめとする関係各位のお力で、様々な苦難も乗り越え、現在も充実した活動を行っていると同じ、私も感慨深いものがあります。ご当地の井上信治代議士とも良い関係を築いて頂いているということで、私からもお礼申し上げます。

「もし青年と呼ばれたいならば、自分の理想の現実化に悩むべきであり、決して安易な妥協に流されるべきではない。これは、私が日本青年会議所の会頭時代に用いた言葉です。今の時代に限らず、いつの時代も、若い世代は前の世代の経験を活かして前進します。自分たちの生まれ育った郷土を愛し、その地域の未来を創造していく。私は、皆さまが開かれた創造性と感性を持って活動されていくことを信じています。」

時は2008年、米リーマン・ブラザーズの経営破綻に端を発する世界規模の恐慌が起こりました。その波は日本も襲い、株価は26年ぶりの安値となり、国民の生活にも甚大な影響が及びました。その直後に内閣総理大臣に就任した私のもとには様々な声が寄せられ、中には退陣を迫るものもありました。その危機に際し、私が下した決断は、内閣総理大臣としての職責を全うすることでした。臆目も振らず景気回復に取り組み、過去最大の経済対策をいち早く断行しました。結果として、最悪の事態を免れることができたと考えています。その後も財務大臣として8年9か月、我が国経済の再生等に尽く

してきました。社会保障の未来のため、政権が倒れると言われた消費税率の引上げを2度にわたって敢行しました。将来を担う子や孫の世代の手足を縛ってはならない。まさに未来を創造していくために妥協の許されない決断でしたが、これもこの時代に培われた郷土と日本を愛する心がある礎であったと思っております。

これからも日本は、多くの決断を重ねていかなければならないでしょう。しかし、悲観することはありません。日本には発展の種が多くあります。経済発展を支える技術、豊かで安全な社会、そして勤勉な国民性も健在です。国民の努力と、政府の適切な梶取りがあれば、日本が発展しないはずがありません。福生青年会議所の会員の中にも、先駆的な製品の開発や経営手法の実践に取り組んでいる多くの若い経営者がいると伺っております。皆さまにはぜひ地域の、そして日本の発展の先頭に立つ想いで、新しい時代を切り開いていくことを願っています。

結びに、福生青年会議所の益々の発展と皆さま方のご健勝をお祈り申し上げます。



衆議院議員 自民党幹事長代理

井上 信治

福生青年会議所創立45周年、おめでとうございます。田邊和英理事長をはじめ役員・会員の皆さまが、地域の若きリーダーとして活躍されていることに敬意を表します。また、半世紀近い歴史を築き上げ、現在も様々な分野で大活躍されているOBの皆さまにもお祝いを申し上げます。現在はコロナ禍で運営に様々な困難があると思いますが、これまでもクリスマス例会に家族で参加させて頂いたり、わんぱく相撲などのイベントにも参加させて頂き、福生青年会議所には特に親しみを感じております。また、私の政治の師である麻生太郎自民党副総裁が、日本青年会議所の会頭であった時に創立されたということにも、大きなご縁を感じております。

私自身、西多摩に移り住んで7年間、青年会議所に在籍したOBの一人です。政治家を志し、親戚も友人もない土地でゼロからのスタートを切った私にとって、様々なことを語り合える同年代の仲間が存在は心強いものでした。その後、45歳以下の政治家や党員で構成される自民党青年局の局長を3年間務め、青年会議所をはじめとする若手団体との交流、意見交換や共同事業なども積極的に行ってきました。青年世代の持つチャレンジ精神や果敢な行動力、仕事盛りや子育て世代としての問題意識などは、私たちの社会にとって、とても重要なものです。私もJCは卒業しましたが、これからも青年の声を政治に活かしてまいります。

福生青年会議所の創設から現在まで、福生市・羽村市・瑞穂町も大きな発展を遂げました。人口や所得は増え、インフラや商業施

設も整備されていきました。一方でこれからは、少子高齢化、成長戦略、新型コロナウィルス対策などの課題にも向き合っていくかなければなりません。国においては、成長分配の好循環とコロナ後の新しい社会の開拓をコンセプトとする、「新しい資本主義」の実現を目指しています。必ずしも地方や中小企業まで行き届いていなかった経済成長を、私たちの西多摩にも行き届くようにします。また、移住や二拠点居住、ワーケーション、観光などを始めとするアフターコロナの社会需要を豊かな自然や素晴らしい伝統・文化を持つ西多摩に呼び込んでいきたいと思っております。誰もが安心して子供を産み、育てることのできる社会を目指し、「ごども家庭庁」の設置も決定しました。これらの施策は正にこの世代の皆さまと共に、推進していきたいと思っております。

最後に、福生青年会議所の益々の発展と、皆さまのご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。



日本青年会議所 第71代会頭

中島 土

一般社団法人福生青年会議所の皆様、創立45周年、誠におめでとうございます。

本年度、田邊和英理事長のもと「勇気凛凛」を掲げられ、社会課題に対し、多くの持続可能な仕組みを創る運動を展開される事と存じます。

これまで長年に渡り、日本青年会議所へ、素晴らしい人材をご輩出下さっておりますことに衷心より感謝申し上げますとともに、青年会議所運動を通して、まちに多くの価値を創出して来られたことに対しまして、心より敬意を表します。

日本青年会議所と致しましては、「まちにより良い変化をもたらす愛が溢れる国をつくる」を基本理念として掲げ、各地青年会議所と手を携え皆様のまちをより良くするための運動を展開してまいります。引き続き深いご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、私共を大いに、ご活用頂ければ幸いです。

結びに、45周年の大切な節目の年に貴青年会議所のさらなるご発展並びに地域において素晴らしい運動の成果を出されること、さらには、現役会員、先輩諸氏の皆様にとって実り多き一年となられますことを心よりご祈念申し上げます。

中島 土



日本青年会議所 関東地区協議会 第68代会長

坂倉 賢

福生青年会議所の皆様、創立45周年をお迎えになられました由、心よりお慶び申し上げます。

地域のために行動し続け、45年という輝かしい歴史を積み重ねてこられたことに敬意を表します。

また、福生青年会議所の皆様におかれましては、日頃より関東地区協議会の活動へのご理解並びにご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本年度の関東地区協議会は、「共感の連鎖が人を惹きつけ、地域が共創する関東の確立」を基本理念として、関東地区協議会だからこそ取り組むべき運動を進めてまいりました。皆様におかれましても、今後とも是非関東地区協議会を有効にご活用いただき、個と個、組織と組織においてI57JOMのネットワークを創る機会に出来れば幸いに存じます。

また、各地会員会議所のために活動する関東地区協議会として、企業や団体とのパートナーシップを強化させ、関東地区協議会の経常収益の過半を外部資金から調達する体制づくりを実現し各地会員会議所メンバーの皆様にご費用対効果の極めて高い事業に参画いただけるよう努めてまいります。

組織にとって節目の年は、過去を振り返り未来を描くための大切な時間で

あると考えます。常に前を向いて山を登り続けていると、ときに歩んできた道のりが見えづらくなります。そんなとき、一旦背中を振り返り、歩んできた道を改めて確かめることで、遥かなる山頂に向かってさらに力強く進むことができると考えます。

福生青年会議所の皆様におかれましては、田邊理事長が掲げられる「勇気凛凜」というスローガンの基、45周年という節目が新たな一歩を踏み出す機会となり、次の50周年へ向けて必要な運動が力強く展開され、貴青年会議所の益々のご隆盛を心より祈念致します。



日本青年会議所 東京ブロック協議会 第51代会長

小美野 義一

福生青年会議所、創立45周年誠におめでとうございます。45年という長きに渡り貴青年会議所を創り支えてこられた歴代理事長様をはじめとされるシニア会員様の皆様、そして今もお諸先輩方の熱い思いを継承し日々青年会議所活動に邁進している現役メンバーの皆様、東京ブロック協議会を代表し、心よりの敬意を表します。そして、東京ブロック協議会へとこれまで多数の優秀な人材を輩出し、東京の課題解決に向けた運動に貢献していただいた事に感謝の意を表します。

新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックによって先行きが不安な今、地域の青年会議所には成すべき大きな役割があります。Withコロナにより地域の環境は変化し、インフレによる経済不況、加速する少子高齢化、地域コミュニティの弱体化、すべてにおいて地域で活躍する若い力が次の時代を先導する力を発揮する時代なのです。45年前、高度経済成長を経てバブル景気へと向かう日本で、福生JCが産声を上げた時と同じように、これから私たちは新たな時代を切り開いていかなければなりません。JCが動かなければならない時がきているのです。福生青年会議所は、福生市、羽村市、瑞穂町をエリアとし、一部地域では在日アメリカ空軍

横田基地が占め、異国情緒と豊かな自然を楽しめる獨創性を持った情熱的なエリアだと認識しております。そんなうちのメンバーだからこそ発信できる物があるのではないのでしょうか。皆様は「CI」福生のプライドをこれから入ってくるメンバーに、そして地域社会へ伝播し、この熱いまちの濃いメンバーから、東京から日本を変える変化の原動力となっていたきたかと思えます。

最後に貴青年会議所におかれましては、これまで45年間積み上げられてこられた英知と勇気と情熱をもって新時代を築く責任世代として新しい街づくりに邁進し、社会から、また地域から必要とされる団体である為に、今後ますます活躍されることを心より祈念いたします。



立川青年会議所 第58代

小林 優貴

福生青年会議所が創立45周年の節目を迎えられましたことを、スポンサーJCとして心よりお慶び申し上げます。

本年、貴会議所におかれましては1

978年の設立以来、社会情勢が大きく変化する中、青年らしいひたむきな情熱というJCとしての利点を最大限に活かし、順調な発展を遂げられてきました。その間、行政、市民、学校などとの連携に基づく福生の特性を活かした数々の事業は、地域の皆様から高い評価を受けておられました。

田邊和英理事長の意気溢れるリーダーシップのもと、「勇気凛凛」をスローガンに、地域を輝かせるために運動を展開されていることに心から敬意を表します。

時代の移り変わりや現在のコロナ禍などによって、人々の考え方は変わっていき、これまで常識とされていたことが常識ではなくなり、非常識とされていたことが常識になるなど、道徳や倫理観というものは常々変わってくると思います。そういった考え方の変化があっても、自分たちが住むまちを良くしようとする志や、地域を想う心は変わることはありません。これからも福生青年会議所が中心となり、これまで築き上げてこられた輝かしい功績と伝統を受け継ぐとともに、青年らしい多様な

価値観と独自性を十分に発揮して、多くの挑戦と変革をされ、地域の絆をより一層育まれる事を切に願っております。

結びとなりますが、明るい未来に対する熱き想いと、その実現に向けて行動していく青年としての気概、そして輝かしい伝統を絶えることなく受け継いでこられた皆様方のお力が、この記念すべき年を契機に一層強く結束され、新たな素晴らしい歴史を築き、さらなるご活躍とご発展を遂げられることを祈念し、私からの祝辞とさせていただきます。



青梅青年会議所 第55代

多田 慎太郎

福生青年会議所創立45周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

創立から今日に至るまでの45年間、熱い情熱を持ってこの地に青年会議所を興され、地域社会の発展にご尽力されました先輩諸兄の功績に心から敬意を表するとともに、先輩諸兄が築き上げた誇り高き志を受け継いだ現役メンバーの皆様にご心よりお祝いと感謝を申し上げます。またサブスポンサー「OZ」として創立より、地域のためにともに運動していることを誇りに思います。

貴青年会議所におかれましては節目となります本年度、田邊和英理事長の下で「勇気凛凛」のスローガンを掲げ、地域の未来のため力強く運動展開されていることと存じます。地域をより明るく豊かものへ導いてくださいますようお願い申し上げます。

近年、世界的規模で社会の変化が加度的に進行しております。この大きな潮流の中で、経済をはじめ日本社会の苦境はより顕在化しており一市民としての日常においてもその変化を感じるまでになりました。このような時間の過ごし方はとても難しく、何よりもこの混乱の中で社会が行動規範を見失いつつあることが、未来への懸念をより大きなものにしていきます。

しかし、私たち青年会議所は「奉仕」、「修練」、「友情」の三信条という確たる行動綱領を有しており、この混乱の時こそが、青年会議所にとっての運動の機であります。地域社会への奉仕を通じて自己を高め、共に手を取り合って、明るい豊かな社会の実現へ向けて社会を牽引して参りましょう。

結びとなりますが、貴青年会議所の限りないご発展を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



福生青年会議所 歴代理事長スローガン

初代理事長(1978年)	町田 成司	のびよう、ひろげよう我らの仲間
第2代理事長(1979年)	町田 成司	みんなで創ろう、明日の我が街
第3代理事長(1980年)	田村 武雄	広げよう、連帯の和
第4代理事長(1981年)	大谷 邦夫	確かな歩み、先駆ける心、地域に生かそうJC運動
第5代理事長(1982年)	高井 正俊	街に愛を、己に課題を、共に進もう我等の仲間
第6代理事長(1983年)	大塚 勝	語ろう明日を、集めよう多くの仲間
第7代理事長(1984年)	岡根 博之	豊かな発想、めざそう地域のニューリーダー
第8代理事長(1985年)	佐竹 庄八	街に活力を、未来に意欲を、生かせ青春の一ページ
第9代理事長(1986年)	大竹 耕一	新風、地域に生かせJCの力
第10代理事長(1987年)	野口 和夫	時は今、未来に向けて、新たなスタートを!!
第11代理事長(1988年)	石井 勇	ふやそう仲間・めざそう新たな街づくり
第12代理事長(1989年)	村尾 英樹	おこせ新風、情熱と汗で!
第13代理事長(1990年)	田村 洋一郎	とびだせ地域へ、創れ我がまち、今!君の手で
第14代理事長(1991年)	船木 良教	未来を語ろう、100の心で
第15代理事長(1992年)	米原 博英	20年に向かって元気な一歩15年
第16代理事長(1993年)	田畑 正彦	人・心・そしてネットワーク
第17代理事長(1994年)	黒木 中	わっはっは(輪・破・波)福生JC
第18代理事長(1995年)	稲山 美津夫	始めよう変革へのファーストステージ
第19代理事長(1996年)	伊倉 淳一	提案しますちょっとすてきなまちづくり
第20代理事長(1997年)	赤星 武光	元気一番西多摩へ発信!!

第21代理事長(1998年)	加藤 昌彦	西多摩に向け今、若い力が未来を創る!!
第22代理事長(1999年)	池和田 次久	クリエイティブ! 自然な心でまちづくり
第23代理事長(2000年)	兒玉 孝志	21世紀に向けて新たな心で創造しよう!!
第24代理事長(2001年)	渡辺 浩行	That's all right地域の未来を共に創造しよう!
第25代理事長(2002年)	木下 実	いいひと! いいまち! みんなでつくろう! 福生JC
第26代理事長(2003年)	柴崎 記賢	勇気ある変化! いざ行動!
第27代理事長(2004年)	内山 誠	地域とともに歩む福生JC
第28代理事長(2005年)	角田 誠一	輝けるJAYCEEであるために前向きにチャレンジ!!
第29代理事長(2006年)	武藤 政義	愛する地域のために
第30代理事長(2007年)	野島 恒浩	明るく楽しく元気よく越えろ! 超えろ! 肥えろ!
第31代理事長(2008年)	山口 浩	新たな一歩を踏み出そう 自覚と誇りの両輪で!
第32代理事長(2009年)	野口 哲也	創ろう! 「ありがとう」のあふれるまち。
第33代理事長(2010年)	入江 誠一	「志」一人ひとりの情熱を持って!!
第34代理事長(2011年)	岡田 丈尋	“BIG MOUTH”夢を語れ!!
第35代理事長(2012年)	佐々木 美之	感謝の想いで行動しよう! ~責任と思いやりを持って~
第36代理事長(2013年)	佐藤 和義	JCを楽しめ! ~TEAM福生心ひとつに~
第37代理事長(2014年)	南場 伸輔	思いやりをかたちに!
第38代理事長(2015年)	堂西 利弥	放て! PositiveChange!! ~笑顔、感動、感謝のまちづくり~
第39代理事長(2016年)	太田 泰之	どんなときもJAYCEEとして行動するべし! ~愛する地域に JCPOWER 発信♪~
第40代理事長(2017年)	渥美 徹	愉快活発
第41代理事長(2018年)	大塚 武則	愛 - One for All, All for One -
第42代理事長(2019年)	氏家 和範	「Challenge! ~地域にNew Waveを起こそう」
第43代理事長(2020年)	大野 通生	Be together as one - 今こそひとつに -
第44代理事長(2021年)	外山 一樹	「立ち止まるな 走れ! ~今できることを全力で~」

第45代理事長(2022年) 田邊 和英





福生青年会議所 会員一覧

2022年10月1日現在

森田 賢一	株式会社森田屋商店
石井 勇	有限会社 石井商事不動産
沖倉 強	沖倉公認会計士事務所
立川 誠	
大野 英樹	
森澤 保	森澤司法書士事務所
山本 修一	ヤマモト保険サービス
清水 勸	有限会社セイビ印刷所
中村 秀敏	有限会社島市商店
木村 徳守	株式会社木村徳蔵商店
斉藤 敏雄	有限会社 エステーアルファ
堀部 龍夫	株式会社装立
並木 泰	並木歯科医院
森田 龍幸	有限会社 モリタ建築事務所
武村 誠	有限会社 武村誠造形研究所
濱中 俊男	株式会社玉川苑
浜名 英一	浜屋
米原 博英	株式会社東郊建設
森屋 仁	有限会社モリヤ電気
黒木 中	株式会社 新都市不動産鑑定
伊倉 淳一	伊倉測量登記事務所
吉村 伸也	焼肉万蔵
見陣 昭彦	株式会社多摩企画一級 建築士事務所
塩野 康夫	宮本建設株式会社

シニア会員

島田 英喜	
船戸 學	株式会社船戸建築
大谷 邦夫	
田村 武雄	
橋本 東治	
高橋 章夫	不二鉄建株式会社
岡根 博之	株式会社イーグル
野島 武司	野島コーポレーション
富田 勝也	有限会社富田屋
佐竹 庄八	株式会社経商
森田 暢靖	森田板金加工所
田村 勲一	東京安全ガス株式会社
高井 正俊	臨済宗建長寺派 宗禪寺
川述 宗彦	店舗設計 ソフィアデザイン
鶴田 和男	株式会社アーイング
板東 輝久	三多摩林業株式会社
戸口 知子	NPO法人 猫の味方ネットワーク
金原 永治	株式会社栄和商事
中村 美高	酒・米 ○三(マルサン)
野口 和夫	株式会社エスピープロ
大竹 耕一	
剣持 康行	旭通信工業株式会社

執行部

理事長	田邊 和英	有限会社若草
直前理事長	外山 一樹	合同会社ライズ
副理事長兼専務理事	福谷 裕希	日本生命保険相互会社 渋谷支社恵比寿営業部
財務理事	荻原 萌美	八王子市立高嶺小学校
監事	吉澤 興龍	有限会社 バルエンタープライズ
監事	太田 泰之	総合室内装飾泰平堂

45周年継承・拡大委員会

委員長	田村 力	税理士法人YFPクレア
副委員長	秋吉 貢蔵	合同会社 フランガーデン
副委員長	浜畑 太輔	寅善
運営幹事	桃井 正雄	Bar,Jr
委員	高崎 雅俊	株式会社 キャスファースト
委員	町田 誠	株式会社 タチエスH&P
委員	成田 樹里	居酒屋 つくね家

総務・研修委員会

委員長	荻原 萌美	八王子市立高嶺小学校
副委員長	豊田 裕希	豊田塗装
運営幹事	何 賽	パブ楓
委員	渡邊 葉月	snack Ray
委員	工藤 翔也	日本リーテック 株式会社



福生青年会議所 会員一覧

2022年10月1日現在

櫻井 健司	桜井電気	島田 哲一郎	伊吹興産株式会社	中村 恵司	中村行政事務所
大山 剛	株式会社エア・デザイン	石川 彌八郎	石川酒造株式会社	塩田 篤	高周波工業株式会社
高山 優	有限会社高山商事	鳥谷部 昌之	株式会社 エスアンドティー	黄島 和彦	株式会社傳書鳩
小松 貴樹	株式会社三菱地所 プロバティマネジメント	内山 忠彦	内山石材興業株式会社	村山 隆敏	村山隆敏税理士事務所
野口 哲也	聖愛幼稚園	中森 富久	有限会社中森生花店	田畑 正彦	タバタ商事
岡田 丈尋	税理士岡田丈尋事務所	角田 誠一	中神不動産株式会社	加藤 眞司	税理士法人あすなろ
大串 昭彦	株式会社オオグシ	木下 実		稲山 美津夫	株式会社 サイドサポートサービス
永井 弘之	株式会社 西東京アイビー化粧品	川嶋 一義	有限会社 ドリーミング ヘアーサロン ピースイート	加藤 昌彦	株式会社ブラジウ
石川 義郎	株式会社石川酒造	加藤 留利子	アール・ミックス カンパニー	森田 敬	株式会社森田工業所
佐々木 美之	有限会社バルエンター プライズ	清水 義朋	福生市議会議員	大須賀 俊治	株式会社関東照明
入江 誠一	有限会社トライ	渡辺 泰秀	株式会社渡辺工務店	本多 稔	有限会社本多製作所
櫻沢 純二	東京システムリサーチ 株式会社	武藤 政義	福生市議会議員	山下 真一	武陽ガス株式会社
岩崎 百合子	衆議院議員 井上信治事務所	山本 伸一	パブクラブオーナー	池和田 次久	有限会社池和田商事
本間 隆志	若みや寿司	小田切 勇	株式会社 カカコム・インシュアランス 東京本店	森 亘	瑞穂学習塾
鳥居 徹也	鳥居司法書士事務所	櫻井 政伸	櫻井政伸税理士事務所	明神 武夫	株式会社グッドライフ
岡根 洋介	株式会社銀蔵	丸山 光正	有限会社丸山 クリーニング	堀田 晴理	ホツタ晴信堂薬局
柳 峰吉	つばさホーム有限会社	木村 敦史	株式会社栄輝	兒玉 孝志	株式会社アイビーエス
佐野 津代嗣	せどや	斉藤 文人	トモプロ株式会社	石上 徳磨	有限会社 山田保険事務所
Eros D. Rivers	聖愛幼稚園	山口 浩	サイクルハウス GOODSUN	山下 敬一	武陽ガス株式会社
田村 晃也	株式会社エコウホーム	原島 裕美	原島会計事務所	小林 輝夫	有限会社小林ソフト
米持 明子	Pub venus 人材派遣venus	五十嵐 治	株式会社ミニモ	堀江 浩一	有限会社ホリエ看板店
宇治山 義章	有限会社宇治山製作所	宋 清洙	有限会社佐野防水工業	柴崎 記賢	株式会社西多摩新聞社
名島 健二	KNテクニカル	武藤 寿信	有限会社ファースト	渡辺 浩行	株式会社渡辺工務店
湯澤 貴男	株式会社 iDJアルファー	渡辺 淳	株式会社アプローチ	内山 誠	内山経営会計事務所



福生青年会議所 会員一覧

2022年10月1日現在

鬼倉 正	株式会社アサカ産業	熊谷 智	行政書士 くまがい法律事務所	野口 佑貴	株式会社エスピープロ
遠藤 守拙	臨済宗建長寺派観音寺	佐々木 亮太	株式会社村尾組	佐藤 和義	株式会社くら蔵
モハネド・タヒル・ウルハッサンカーン		平尾 義嗣	株式会社十緑造園	南場 伸輔	
小作 裕徳	学校法人 栄学園 さかえ幼稚園	氏家 和範	井上法律事務所	佐々木 徳夫	株式会社 ACクリーン埼玉
神田 秀次	有限会社神田工務店	宮崎 大介	堺交通株式会社	長谷川 謙二	航空自衛隊
高橋 俊昭	第一生命保険相互会社 新福生支店	品川 真理	品川真理税理士事務所	吉澤 興龍	有限会社 バルエンタープライズ
武田 博行	有限会社武田企画 ブックセンターメルヘン	大塚 武則	社会福祉法人福寿会	伊藤 章裕	アイティーエム クリエイティブ株式会社
北村 明男	株式会社 ジュエリー・ハッセキ	佐藤 英之	株式会社 塩田組	五島 英明	玄米ごはんとお酒 ごしま
佐藤 栄四	佐藤産業株式会社	伏見 和博	医療法人社団久遠会 西東京センター	島岡 伸一	島岡興業
中原 弘之		堂西 利弥	社会福祉法人共生会 葛飾区地域包括 支援センター 立石	福島 将人	有限会社トライ リフォーム部
宮崎 健志	株式会社モアファースト	八巻 亨	若草薬局	吉本 雅己	株式会社 メモリアル青海
中村 潤	株式会社武蔵野不動産	松下 真司	株式会社マツタ食品	木村 健一	K-clean
寄口 裕司	有限会社ツカサ	大野 通生	衆議院議員 井上信治事務所	濱田 太郎	医療法人社団 久遠会 高沢病院
中村 潔志		張 延	夜上海	太田 泰之	総合室内装飾泰平堂
葛西 正和	株式会社KS精機	津金 恵里沙	明治安田生命 福生営業所	中島 ふたば	ムーンタム
志村 吏郁	株式会社かたばみ楽器			ビ リー	株式会社 明晴人材センター
本木 賢太郎	咲楽AGRI税理士法人 AGRI法律会計事務所			吉田 宏輔	寿司・ふぐ 吉田

OB

名誉会員

植木 勝男	植木鋼管株式会社
-------	----------

特別会員

井上 信治	衆議院議員
馳平 耕三	羽村市議会議員

小泉 慧	小泉会計事務所	小山田 貴弘	おそうじ本舗 国分寺駅前店
山下 政義	武蔵野物産株式会社	渡辺 貴士	医療法人社団 久遠会 高沢病院
山田 建治	有限会社山田工芸社	渥美 徹	日本ウィード株式会社
菅野 豊治	株式会社植木鋼管	斎 猛男	有限会社エムフード
深沢 輝夫	東京海上火災保険 株式会社 千葉支店	田 艶紅	ラウンジ姫
滝島 愛夫	有限会社滝島商店	細野 太一	有限会社細野石材店
鎌田 利光	鎌田製作所	山口 美穂	山口行政書士事務所



福生青年会議所 会員一覧

2022年10月1日現在

物故会員

島田 一成
森下 博
森田 政治
立木 寿一
大塚 勝
根岸 活
赤星 武洸
宮木 孝昌
野島 垣浩
田村 洋一郎
遠矢 東吉
大森 博
伊藤 昭嘉
観月 あすか
吉野 隆宣
細谷 理一
井上 啓
船木 良教
浦野 茂

原 茉希子	Salon de Bon chic
藤丸 雅弘	居酒屋まるちゃん
山中 あゆみ	BAR M
荒牧 潤哉	ASOBIBA39
黒沢 昇一	有限会社 大昇
兎 淑姫	LOUNGE AGAIN

賛助会員

比留間 健一	西武信用金庫 福生支店
吉田 健一	西武信用金庫 牛浜支店
大館 教文	西武信用金庫 瑞穂支店
星野 明宏	西武信用金庫 拝島支店
田村 勝彦	株式会社交運社
島田 高廣	特定非営利法人 自然環境アカデミー
高橋 美穂	バンケットサービス 美詩音
高木 誠	高木量工業所
赤井 剛	株式会社東京スペース
端 晶弘	有限会社 ハタ技術研究社
星野 光	小料理 ひとよ
乙部 正幸	きもの処 乙部
石政 陽一	居酒屋 俺
佐藤 慶	有限会社内田電気商会
李 義玲	スナック銀座
張 艶	スナック 夜上海
唐 佳利	タ日
黒沢 美穂	PUBレジェンド
彼末 祐一	やきとり 鳥ゆう
入江 真紀子	M's kitchen
渡邊 妙子	小料理スナック たえ
古屋 友佳子	Pretty

編集後記

1978年、全国で645番目の青年会議所として設立された福生青年会議所。

本年創立45周年を迎え、「勇気凛凛」のスローガンを掲げられた田邊和英理事長の下、記念誌制作の担当をさせていただきました。

新型コロナウイルスの影響を受けながら、歩みを止める事なく進み続けた5年間の主だった例会を掲載させていただきました。

本誌発行にあたり、ご寄稿、ご協力いただきました関係諸氏、また歴代理事長はじめ多くの皆様に深く感謝申し上げます。

45周年継承・拡大委員会

田村 力

秋吉貢蔵

浜畑太輔

Creative Staff

株式会社 UNDER FLOOR

林 賢吾

秋山 靖幸

福生青年会議所45周年記念誌

発行 福生青年会議所
理事長 田邊 和英

編集 45周年継承・拡大委員会
田村 力
秋吉貢蔵
浜畑太輔

事務局 福生青年会議所
〒197-0022 福生市本町112-2
福生商店街協同組合会館1F
Tel:042-551-6004
Fax:042-551-6024
<http://fussajc.com>
info@fussajc.com

発行日 2022年10月1日

JCI  **Junior Chamber International Fussa**
Worldwide Federation of Young Leaders and Entrepreneurs



福生青年会議所

〒197-0022 東京都福生市本町112-2 福生商店街協同組合会館1F
Phone:042-551-6004 Facsimile:042-551-6024

<http://fussajc.com/>